

スポーツ かわさき

No.42

大相撲川崎場所特集号



— 目 次 —

- 平成8年度体育協会事業計画 ②
- ハンドボール関東大会ダブル優勝 ③
(ちびっ子大会・中学生大会)
- 軟式野球 国体関東ブロック大会へ ③
- 指導者派遣事業・奨励賞新設 ④
- 強化育成事業 ⑤
- 大相撲川崎場所特集 ⑥
- 国体リハーサル 平成9年関東大会 ⑩
- 国体準備室だより ⑩
- 賛助会員募集中・提携店案内 ⑫

財団法人 川崎市体育協会

「生涯スポーツ・競技スポーツの 推進をめざして」

体育協会事業計画 平成8年度 収支決算決まる

平成8年3月27日、川崎市教育文化会館において、平成7年度の第4回評議員会・第5回理事会が開催され、平成8年度体育協会事業計画、収支予算案その他について審議が行われ、それらは全会一致承認可決されました。

開会に際し、高雲和也会長から次の要旨の挨拶がありました。『国内外の諸情勢は変化・激動の時代であり、当体育協会も超低金利時代のインパクトを受け、自主事業実施財源の基本財産利息収入が激減し、その打開策につき引き続き対策に努力して来た。幸い川崎市より、当協会の財政改善にも寄与するとして「大相撲川崎場所」の共催団体への推挙を賜りました。本事業の成功を期し運営委員会を設置、川崎市を始め後援各団体のご理解、ご支援を賜り、協会の総力を挙げて取り組みました。事業計画についてはほぼ平成7年度と同規模の自主事業実施計画を立案した他、市からの受託事業では第53回「かながわ・ゆめ国体」へ向けての選手強化育成事業の充実の他に、新たに「家庭婦人バレーボール大会」の事業を受託することになりました。また、かねて本協会の基盤事業として検討して来た「指導者派遣事業」の関連事業として、過去2年間「ニュースポーツ教室」である「ソフトバレーボール教室」をやって来たが、これが川崎市生涯学習事業団の事業として取り上げられ、「とどろきアリーナ自主事業」の一環として開催されることになりました。当協会加盟団体が育てた「生涯スポーツ振興」のための事業が、指導者付プログラムとして取り上げられたことはこの事業に弾みをつけるものと期待している。一方、平成10年の「かながわ・ゆめ国体」準備については、市当局のハード面でのご尽力により、施設整備が着々と進み、8年度中には終了する見込みとなっています。また競技団体としても、選手強化事業の成果を出す時期であるとともに、8年度は「51回国民体育大会関東ブロック大会」、9年度は「国体リハーサル大会」を開催し、競技会運営体制について万全の準備を行う予定となっている。「生涯スポーツ」の普及・振興と「競技力向上事

業」については、これを達成するための正念場を迎え、8年度から10年度までまさに本協会の真価を問われるときを迎えている。従来にも増して加盟団体が一致協力してこの重要な時期を乗り越えて頂くことを心から期待している』との旨を強調されました。

主な審議事項は次の通り。

第1号議案 平成8年度事業計画案について

事業計画(案)・事業実施計画書(案)について諮ったが、○初心者なぎなた教室の継続実施の検討、○ソフトバレーボール技術教室を(財)川崎市生涯学習振興事業団「川崎市とどろきアリーナ」の事業として継続すること及び他の事業については計画書(案)の通り実施することで全員一致で承認した。

第2号議案 平成8年度収支予算案について

議長から別紙収支予算(案)○大相撲川崎場所特別会計収支予算書(案)について諮ったが、異議なくこの議案について全員一致で承認した。

第3号議案

平成8・9年度体育協会評議員の選任について議長から別紙資料に基づき諮ったが、寄附行為第22条2項により本会での選出及び当協会々長から任命することで異議なく全会一致で承認した。

報告事項

- 1 平成7年度生涯スポーツ指導者講習会について
- 2 平成7年度賛助会費納入金額と名簿について
議長から別紙資料に基づきこの2項目について諮ったが、異議なく全会一致で承認した。

次に依頼事項

- 1 平成7年度体育功績者、優秀選手・チーム表彰について
- 2 平成7年度各種目団体事業報告書
- 3 平成7年度各種目団体収支決算書
- 4 平成8年度各種目団体事業計画書(確定)
- 5 平成8年度各種目団体収支決算書(確定)
- 6 平成8年度各種目団体役員一覧表
- 7 平成8年度各種目団体連絡者
- 8 平成7年度各種目団体登録数(人数)
- 9 平成8年度賛助会費について

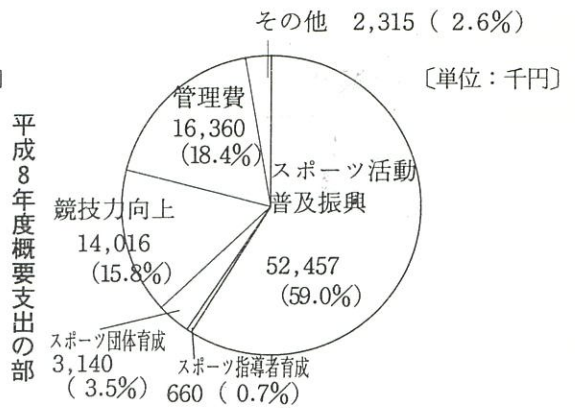
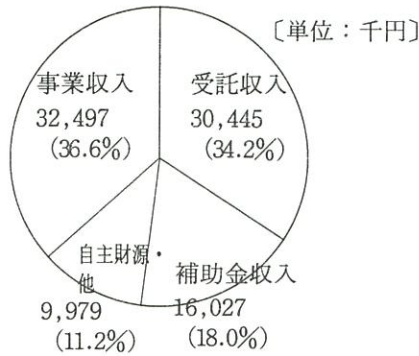
議長から別紙書類について、期限内に提出することを出席者に依頼した。

その他

川崎市アマチュアダンス協会加盟申請について次回理事会で検討することとした。

(財)川崎市体育協会
収支予算概要

平成8年度概要収入の部



財団法人川崎市体育協会評議員名簿

氏名	所属種目団体
赤地 靖男	陸上競技協会
岡田良之介	野球協会
前田 亨介	バレーボール協会
禰覇 朝明	バスケットボール協会
中山 剛	バドミントン協会
菊地 政宣	卓球協会
高瀬 健二	テニス協会
鈴木 孝雄	ソフトテニス協会
森川 重俊	柔道協会
富田 三郎	剣道連盟
石渡 澄穂	弓道連盟
森崎 幸一	相撲連盟
大箭 俊介	山岳協会
柴崙 淳	水泳協会
片 忠夫	スキー協会
中畑 一男	スケート協会
今村 貞	ラグビーフットボール協会
前田 修二	サッカー協会
石原 匡	体操協会
多田 勝彦	少林寺拳法協会
野口 晏正	空手道連盟
斉田 英二	ハンドボール協会
永野 節子	なぎなた連盟
木村 邦雄	ソフトボール協会
阿部 力雄	クレ射撃協会
木村 浩章	合気道連盟
鎌田 孝一	ポーリング協会
武田辰次郎	ゲートボール連合
中島 伸夫	ゴルフ協会
黒木 忠雄	高等学校体育連盟
長村 信幸	中学校体育連盟
永野 浩	川崎市教育委員会
猪野 儀	川崎市教育委員会

関東ちびっ子・中学ハンド大会でW優勝

大戸と西中原中ハンドボールチーム

第13回読売旗関東中学生大会、第12回読売杯関東ちびっ子大会が新春1月4日から7日までの4日間の日程で、東京八王子市の中央大学第一体育館で開催されました。川崎市立西中原中学女子チームは参加32校との熱戦の中で、10年ぶり3回目の優勝を勝ち取りました。

また、これと同時に開催された、関東地区の小中学生チームにより行われた「読売杯ちびっ子大会」でも、I部リーグに参加した大戸Aクラブが、初優勝を飾りました。創部11年目の快挙です。

なお、Bリーグでは丸子クラブが準優勝。同じく大戸Bが第3位を獲得しました。



初優勝の大戸Aクラブの選手・指導者

川崎市水道局が軟式野球で
関東ブロック大会への出場権獲得

川崎市水道局の軟式野球チームが、去る5月16日に行われた、国体関東ブロック県予選会決勝戦で、リコー厚木を3-1で降し、8月に本市で行われる関東ブロック大会への出場権を獲得しました。

生涯スポーツの普及・振興と、競技者の更なる飛躍を期待して

財団法人川崎市体育協会では、生涯スポーツと競技力向上を両輪にして事業運営していますが、今回は、平成7年11月から施行された「スポーツ指導者派遣事業」と平成8年度に新設された「奨励賞」についてご紹介します。

スポーツ指導者派遣事業

スポーツ指導者派遣事業は、「市民のスポーツへの関心の高まりとともに増大するスポーツ指導者の派遣要請に応え、市体協の保有する人材を活用して計画的にスポーツ指導者の確保と資質の向上を図り、円滑な指導者の派遣制度を確立し、市民スポーツ（生涯スポーツ）の積極的な普及・振興を推進する」目的で、平成7年11月30日に施行されたものです。

このような目的を達成するため、本事業では、①指導者の登録、②指導者の紹介・派遣、③指導者の研修・育成、④調査・研究・広報などを行います。

この指導者となるためには、「市体協加盟の関係種目団体が管轄する専門種目スポーツについて、当該種目団体が指導者派遣及び研修育成の事業に適合するとして推薦し、スポーツ指導者派遣事業運営委員会が承認した者」でなければなりません。

このようにして登録された「川崎市スポーツ指導者」は次のような活動と任務を行うこととなります。

- ①派遣要請に対し、市体協より選定・派遣される指導者としての認識・自覚をもって、要請元のスポーツ活動計画に参画し、川崎市の社会体育指導者として相応しい指導・助言にあたる。
- ②市体協や市教育委員会が主催又は後援する各種事業や公的行事へ積極的に参加・協力し、スポーツ活動の指導・支援にあたる。
- ③専門種目スポーツに関しては、種目別中央競技団体の指導要請及びルール等に基づいた正統派の指導を行う。
- ④市体協などが主催する研修会・講習会に積極的に参加し、必要な情報・知識・能力等の研鑽・研修に努める。
- ⑤人格・教養・社会的行動等において品位を汚さ

ず、常識的・中立的な対応・責任ある言動に努める。

加盟種目団体には、この事業の趣旨を十分理解の上、多くの指導者の推薦をお願いするとともに、市民の方々には、多くの派遣要請をいただき、生涯スポーツの普及・振興を推進していきたいと思っております。

奨励賞の新設

現行の優秀選手賞は、「(1)全国大会以上の大会において3位以内の入賞を成した選手及び団体、(2)特に顕著な記録を成し、公認された選手」を対象とした権威ある高水準の表彰水準です。

市体協では、この優秀選手賞とは別に、平成7年度から「奨励賞」を新設しました。これは、現行の「優秀選手賞」を受賞できる水準以下であっても、国内スポーツ界で高水準にある神奈川県予選会で優勝し、県代表として全国大会へ出場した場合には、その競技者の更なる飛躍を期待するという趣旨で設けたものです。

小学生・中学生・高校生の場合には、県予選会で優勝し、全国大会へ県代表として出場した選手又はチームを奨励賞候補として推薦できます。

成人の場合には、県予選会で優勝し、県代表として関東大会へ出場し、優勝した選手又はチームを奨励賞候補者として推薦できます。

市体協では、推薦のあった奨励賞候補者について慎重に審議し、奨励賞を決定し、表彰してまいります。表彰は、賞状と記念品を授与する予定です。

関係種目団体にとっては、この趣旨を十分理解され、奨励賞候補者の推薦をお願いしたいと思います。

なお、平成7年度の奨励賞の表彰選手およびチームについては、次号でご紹介する予定にしています。

強化育成事業順調に進む

第53回国民体育大会神奈川大会を控え、川崎では20種目の強化育成種目のうち、8種目を昨年度から「重点強化種目」として指定しました。野球、卓球など、さまざまな種目で全国大会や関東大会への出場数が増えたり、県大会でも川崎の選手が上位で活躍するようになるなど、強化育成の成果は着実に上がってきています。

今年度も昨年度に引き続き、選手強化、審判育成などを中心に事業が行われます。更なる成果を期待したいものです。

重点強化種目

1. 野球

◎基礎体力の養成とチームプレーの向上を中心とした一般選手強化と審判養成。

2. バレーボール

◎全国レベルでの上位入賞を目指した一般選手と高校生中心のジュニア選手の強化。

◎底辺強化を目指した一般指導者と審判養成。

3. バasketボール

◎発達段階に応じたジュニア選手の強化。

◎指導者の育成と審判の養成。



4. 卓球

◎国体指定選手を重点的に選抜してのジュニア選手強化。

5. テニス

◎交流ゲームなどを含めたジュニア選手の強化と指導者、審判の養成。

6. サッカー

◎ジュニア選手の育成と強化及び指導者育成。

◎一般選手強化と審判養成。

7. ハンドボール

◎長期的視野にたったジュニア育成。

8. ボウリング

◎実践トレーニングを中心にしたジュニア及び一般選手の強化。

強化種目

◎陸上競技

小学生対象のジュニア育成。

◎ソフトテニス

中学生を対象としたジュニア育成。

◎柔道

小・中学生対象のジュニア育成と審判育成。

◎水泳

技術修得を目指したジュニア選手強化。

◎ラグビーフットボール

小・中一貫してのジュニア選手育成。

◎体操

競技力向上を目指したジュニア選手の育成。

◎少林寺拳法

高段者を招いての一般選手強化。

ジュニア選手及び指導者の育成。

◎なぎなた

ジュニア選手育成と一般選手強化。

実務能力の向上を目指した競技役員の養成。

◎ソフトボール

試合中心のジュニア及び一般選手強化。

審判員と指導者の育成。

◎クレール射撃

一般選手の強化と指導者の育成。

◎弓道

技術中心のジュニア及び一般選手の強化。

◎相撲

発育段階に応じたジュニア選手の強化。



とどろきアリーナに歓声とどろき ファン6,500人、生の迫力に酔う！

(平成8年度(財)川崎市体育協会事業)



大相撲 春の地方巡業「川崎場所」が去る4月8日(月)

中原区の「とどろきアリーナ」で開かれました。

(財)川崎市体育協会が自主事業として日本相撲協会との共催で開いたもので、川崎市生涯学習事業団ほか後記6団体の全面的なご協力により実現した事業でありました。

当日は午前8時の開場を待ちかねたようにファンが続々と詰めかけ、11時35分から始まった序二段からの取組みの頃は、会場入口は長蛇の列。次から次へと席は埋まり、遂に満席となりました。

初切(しょっきり)に場内大爆笑！

幕下の取組みが終り、中入りとの合間には、地方巡業ならではの数々の実演が披露されました。

6名の力士による相撲甚句をはじめとして、幕内力士の朝乃翔をモデルとした髪結いの実演、櫓太鼓の打分け、相撲の基本動作、横綱・曙の綱締めなど、本場所では見られぬ様々な光景はファン

にとっても珍しいもの。なかでも楽しかったのは、相撲の仕切りや技などを誇張して演じる初切(しょっきり)。そのユーモラスな演技には満場が爆笑の渦。館内の雰囲気は徐々に高まっていました。



両横綱と記念撮影の序

本場所さながら、本格的な吊屋根

川崎場所がこんなに盛上がったのは、魅力的な取組みもさることながら、本場所さながらの土俵作りにもあります。国技館のそれと全く同じ本格的な吊り屋根や照明設備に加えて、土俵廻りの検査役席やタマリ席、また、マス席などアリーナの中に「よくぞ作ったもの」と思われる舞台装置は、館内に足を踏み入れただけで一種の興奮を覚えさせるものでした。

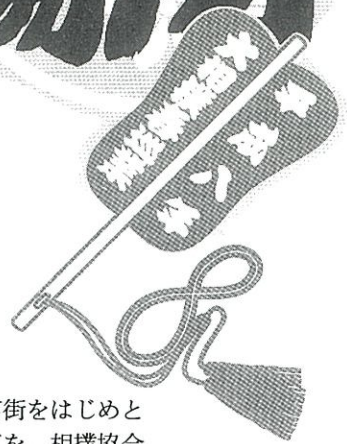
触れ太鼓、市内を練り歩く

また、場所日の前日、これも本格的に「触れ太鼓」



大相撲川崎場所と書かれた協賛の幟(のぼり)

相撲川崎場所



まで行われたのだから、市民の関心は大いに高まったというものです。

触れ太鼓とは、相撲興行を知らせるため、興行開始の前日に、呼出しが太鼓を叩きながら、市中に出て初日の取組みを触れ歩くもの。前日の4月7日(日)には、元住吉商店街をはじめとして、新城地区や川崎駅前などを、相撲協会の呼出しと共に太鼓が練り歩き、市民の気分を盛り上げました。

更に当日は、アリーナ2階入口への階段付近で、これまた、相撲興行を知らせ客を呼び寄せるため早朝に打つ「櫓太鼓」が行われました。さすがに櫓までは組まれませんが、朗々と響き渡る「寄せ太鼓」は、開始前から観客の心をときめかせたようです。

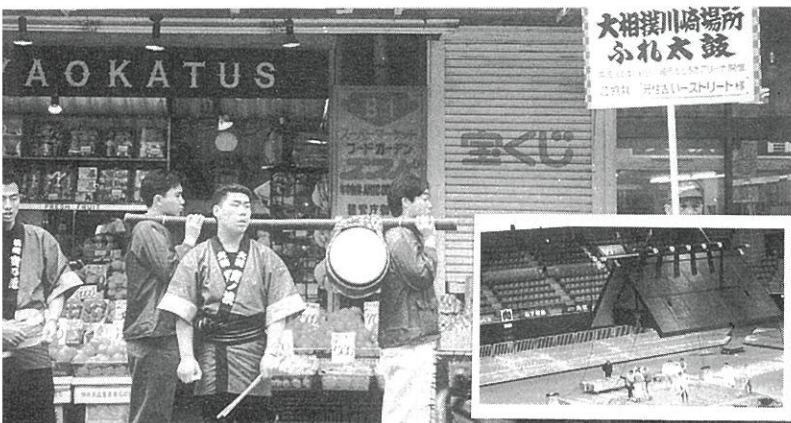
幟(のぼり)数十本、風にはためく

会場「アリーナ」の入口周辺には多くの幟(のぼり)も建てられました。幕内各力士の四股名(しこな)を染め抜いた幟も大相撲独特の雰囲気を持つものですが、数十本の幟に加えて、今回は地元各企業・団体から協賛の幟も打ち建てられました。

「大相撲川崎場所」と染められた極彩色のこれらは、春風に吹かれてへんぼんとひるがえっていました。協賛者は次の通りです。(順不同・敬称略)

- 大本山 川崎大師
- 川崎信用金庫
- 三五紙業(株)
- (株)久慈工業
- (株)和助
- (株)川崎精機
- (株)川崎さいか屋
- (株)川崎岡田屋モアーズ
- 川崎地下街アゼリア
- (株)川崎ステーションビルBE

橋市長と体協高雲会長



市内を練り歩く触れ太鼓

前日、館内での土俵作り

また、触れ太鼓については次の団体の協賛を頂きました。（順不同・敬称略）

川崎信用金庫

元住吉い〜ストリート商店街

新城アーケード商店街

モトスミ・プレーメン通り

中入りは幕内土俵入から



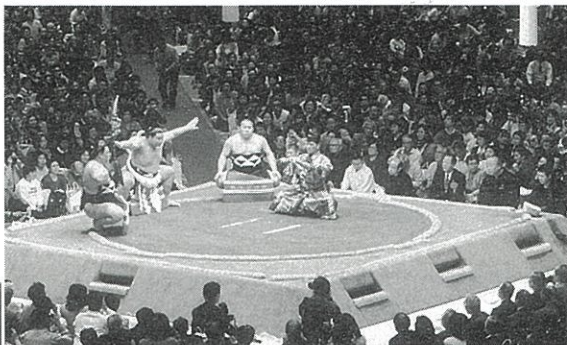
幕内力士土俵入

午後1時30分に始まった幕内土俵入。次いで貴乃花・曙による横綱土俵入の時には、館内は既に超満員、6,500人の観客でふくれあがりました。

相撲協会二子山親方の挨拶のあと、高橋市長が土俵上で「もしも国技館が壊れたりしたら、いつでもとどろきアリーナを使って頂きたい」と呼びかけ、ファンから大きな拍手を受けました。



挨拶する高橋市長と二子山親方



横綱貴乃花土俵入り

幕内力士の取組みは次の通り本場所千秋楽のようでした。

巖 雄	—	若 隼 人	春日富士	—	時 津 洋
敷 島	—	濱ノ嶋	力 櫻	—	琴 別 府
寺 尾	—	久 島 海	若 翔 洋	—	琴 稻 妻
大 翔 鳳	—	栃乃和歌	水 戸 泉	—	朝 乃 翔
湊 富 士	—	大 至	舞 の 海	—	琴 の 若
旭 豊	—	小 城 錦	三 杉 里	—	蒼 樹 山
浪 之 花	—	朝 乃 若	玉 春 日	—	剣 晃
土 佐 ノ 海	—	安 芸 乃 島	貴 闘 力	—	小 城 ノ 花

（是より三役）

若 乃 花 — 武 双 山 貴 ノ 浪 — 武 蔵 丸
 貴 乃 花 — 曙

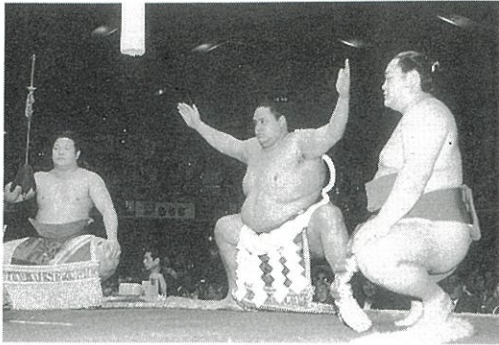


寺尾—久島海戦

取組みはいずれも熱の入ったものばかりでしたが、中でも大きな声援が送られたのは舞の海・琴の若戦や、武双山対若乃花戦。

激しい投げの打ち合いのすえ、小兵の舞の海が大きな琴の若を下手投げで下した一番や、武双山の、闘志むき出しの激しい投げに大関若乃花が土俵下に転落するなど、手に汗握る対戦が続きました。

結びの一番、貴乃花・曙戦は、復活を賭ける曙が、貴乃花とがっぷり四つに組み、激しい寄り合いのあと貴乃花を土俵際でうっちゃって勝ち健在



横綱曙土俵入

ぶりを示しました。

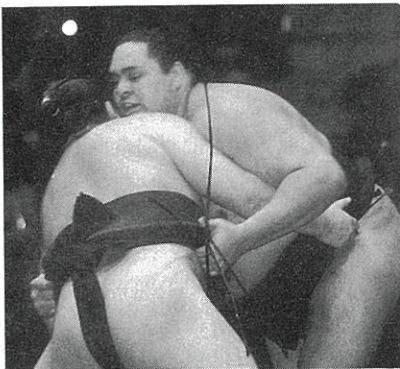
打出し

は午後3時。あいにくと降り出した雨の中、観客は大相撲の興奮の余韻を噛みしめながら三々五々帰路につきました。

然し6,500もの人が一斉に退場したのだから足の便が大変でした。

もちろん、市バス、東急

バスとも臨時便を運行しましたが、乗車定員が少ないため乗るまでのかなりの時間、雨の中を立ち続けるのは苦痛でした。こんな時に地



貴乃花一曙

下鉄なり大量輸送の交通機関があったらナ、とはバスを待っている市民の声でした。

身障者用座席

が少なかったことも一つの問題点ではあったろうと思います。今回わずか6席しかなかったことに不満を述べる市民もいました。主催者である体育協会としても初めての経験であるだけに、一部市民の方々に何分かご不満を与えたことをお詫びしたいと思います。

開催趣旨と目的

今回の「大相撲川崎場所」の開催趣旨と目



熱戦に酔う市民のみなさん

的を考えてみた時、(1)わが国の伝統的、かつ国民的人気の高い大相撲を本市で開催し、力士の高度な技や力強さを市民が身近に観戦することにより、市民のスポーツに対する関心を促し、本市スポーツの振興を図る。

(2)川崎市のスポーツ・文化の拠点として完成した「と

若乃花一武双山



弓取式

どろぎアリーナ」を活用し「健康・スポーツ都市かわさき」構築に寄与することという初期の目的は達成できたと、大いに自負してもよいと思うのですが、いかがだったでしょうか。

主催 財団法人 日本相撲協会

共催 財団法人 川崎市体育協会

後援 川崎市、川崎市教育委員会

川崎市生涯学習事業団、川崎商工会議所

川崎市全町内会連合会、川崎信用金庫

第51回国民体育大会（広島大会）

関東ブロック大会開催の準備着々と 神奈川県実行委員会を結成

第51回国民体育大会関東ブロック大会が、29種目の競技部門にわたり6月下旬から8月下旬（アイスホッケーのみ冬季12月）にかけて、県下各地で開催されます。この成功に向けて神奈川県体育協会とその担当部局である神奈川県教育委員会が中心になって、去る3月19日、神奈川県民ホールで『関東ブロック大会神奈川県実行委員会』を結成しました。

『新しい国体の創造をめざして』

当日、会場には、関東各県の体育協会の専務理事および種目別協会・連盟の会長・理事長等、また本県関係では、県体育協会、教育委員会教育長以下担当部課長、国体局、生涯スポーツ振興会議、また神奈川県高等学校連盟・同中学校体育連盟理事長、テレビ神奈川・神奈川新聞社等の報道機関の代表、県内開催市町の教育委員会および体育協会の代表等130名余りが参加しました。本市からも（財）川崎市体育協会の作間牧夫常務理事と第51回国体関東ブロック川崎市準備委員会野口始男委員長が参加しました。

会議は、神奈川県体育協会・馬飼野正治会長の「新しい時代の国体を創造しよう」との挨拶を皮切りに議事に入りました。

実行委員会会長に岡崎洋県知事を選出

まず、神奈川県実行委員会の設立に向けて『実行委員会会則』を決定しました。その内容の主なものは、①実行委員会事務局は神奈川県体育協会内に置くこと②目的は、第51回国民体育大会関東ブロック大会を円滑に開催することにより、関東ブロックのスポーツを振興し、地域住民の健康と体力の向上を図り、併せてスポーツの交流を通じて各都県間の親睦と友誼を深めるとともに、地方文化の発展に寄与することを目的とする、としました。③本会の委員は、つぎにあげる者のうちから会長が委嘱し、委員会を構成するとして、・関東各都県代表者・関東ブロック関係競技団体代表者・神奈川県教育委員会代表者・（財）神奈川県体育協会代表者・神奈川県関係競技団体代表者・会場地市町村代表者・会場地市町村体育協会代表

者・関係団体の代表者となりました。

この会則にもとづいて実行委員会の委員が構成され、会長に岡崎洋神奈川県知事を選出し、以下134名の委員が選出されました。

川崎市体育協化作間常務理事が常任委員

なお、実行委員会が具体的な企画、実施計画に関すること等を実際に行っていく機関として、常任委員会を設置しましたが、その委員の一人として川崎市を代表し、川崎市体育協会の作間常務理事が専任されました。

これにより今夏、6月から8月下旬にかけて県下各地で開催される第51回国民体育大会（広島大会）関東ブロック大会の実施大綱が決定し、大会に向けて具体的な取り組みが開始されました。

ボウリング・軟式野球・ハンドボールの 3種目競技 川崎市実行委員会が発足

こうした神奈川県動きに呼応して、川崎市においても平成7年度に関係競技団体・川崎市教育委員会・（財）川崎市体育協会で『準備委員会』を結成しました。川崎市ではボウリング（会場予定川崎グランドボウル）が7月22日～23日、軟式野球（川崎球場・等々力野球場・大師グランド等予定）とハンドボール（川崎市とどろきアリーナ・市立川崎高校体育館等予定）が23～25日に開催される予定です。これらの競技が円滑に運営されるように、「準備委員会」を基盤に3種目の団体が相互に連絡を取り合いながら、この大会の成功を期しているところです。

そして川崎市でもさる3月26日に準備委員会を実行委員会に切り替え、各競技の具体的な実施についての方策の検討に入りました。

国体準備室だより

国体の炬火・採火地、川崎市は「扇島」に決まる
～炬火名は、鉄（くろがね）の火～

昨年10月から「かながわ・ゆめ国体」の採火地と炬火名を公募しました。その結果、2267件の応募があり、県国体実行委員会選考会で検討した結果、本市でも採火が行われることになりました。本市以外での採火地・炬火名は次のとおりです。また、それぞれの市町村で採られた火は県内各市町村をリレーされ、メイン会場である横浜国際総

採火地	炬火名	市町村
みなとみらい21地区	世界をつなぐ港の火	横浜市
江の島・湘南海岸	渚・若人の火	小田原市
小田原城	城下・ゆめの火	藤沢市
宇宙科学研究所	銀河の火	相模原市
三浦三崎漁港	海の幸の火	三浦市
相模川	母なる相模川の火	厚木市
箱根関所跡	山ゆりの火	箱根町
宮ヶ瀬ダム	虹色の火	愛川町
藤野町（ふるさと芸術村）	芸術の火	藤野町

合競技場に集火され、メインスタジアムで国体終了まで燃え続けます。

なお、炬火リレーは平成10年の秋季大会1週間前頃に採火し、各走者によって引き継がれてゆきます。

炬火リレーの今後の予定につきましては、今年度はコースを検討し、平成9年度にはコースや日程が決定されます。

※「炬火」とは、国民体育大会で「大会旗・炬火リレー」の先導役を努める「火」のことを言い、イメージ的にはオリンピックの聖火のようなものです。

平成8年度は国体開催PR年！

国体まで900日を切り、多くの方がたに国体開催を知っていただく重要な年となりました。7月と10月を広報キャンペーン月間とし、具体的な広報を媒体として、国体準備室では次のような計画で準備を進めてまいります。

(1) 工作物によるものとして、市役所前と武蔵小杉駅前に広告塔を設置する他、スポーツ施

設や、区役所、さらに競技会場に広告看板を設置する予定です。

又、大変好評であった川崎駅自由通路上に、再び5月から8月迄と11月から来年の3月までバルーンの「かなべえ」が登場いたします。

この他、かなべえの着ぐるみ、のぼり旗、ポケットティッシュ等をセットにし、市内で開催されるいろいろな行事の貸出用として8月を目標に製作依頼をしています。体協加盟団体の皆様にもご活用いただければ幸いです。

(2) 印刷物によるものとしては、市内の小学生全員に冊子「みんなの国体わくわくガイド」を配布いたしました。この他、ポスターやリーフレットを発行いたします。

(3) メディアを通しては、昨年に引き続き、川崎駅のQボードや「とどろきアリーナ」さらに、Jリーグを開催している等々力競技場に大型映像装置を媒体とし、より多くの人びとに国体開催をPRいたします。



(Jリーグ(5月)で放映された写真)

(4) 市内で開催される諸々の行事を通しては、市・区民祭、市体協が主催する各種大会をはじめ、各区で行われているいろいろな催し物についても、地元の皆様のご協力をいただきながら広報活動を進めてまいります。

等々力野球場スコアボードが自動化に！

今年度、等々力野球場のスコアボードの自動化、富士見庭球場の砂入人工芝化、市体育館の屋根ふき替及び床の張替工事が予定されており、完成されますと、大会運営や市民利用に多くのメリットがもたらされます。

○本市実行委員会の常任委員会及び総会が6月3日、ホテルKSPで行われました。

○国体準備室が4月から2課（総務課、競技式典課）の16人体制になりました。

(財)川崎市体育協会

ただいま賛助会員募集中!

あなたのお力をお貸し下さい

当協会では、市民の皆様が明るく健康で、活力あふれる生活を送るための基盤ともなる、スポーツの活動を支援しております。

具体的には、誰もが気軽に参加できる各種スポーツ教室の開催や、地域・職場でのスポーツ指導者育成のお手伝い。また、健康のためのスポーツ指導。そして更には、2年後、神奈川で開催される国民体育大会に向けての、競技力の向上に関する諸事業など、一層それらの充実を図って行く考えであります。

賛助会員のご支援が鍵

当協会がこれらの事業を展開して行くためには、賛助会員の皆様からのご支援が欠くことのできない財源となっております。このことをご理解頂き、この際あなたも「川崎市体育協会賛助会員」となって頂き、市民スポーツの発展にご協力を下さるようお願いをいたします。

会費は、個人会員年額1口2千円で1口以上

団体会員は年額1万円で1口以上となっております。

〒210川崎市幸区戸手本町1-11-3

川崎市幸スポーツセンター内 川崎市体育協会
電話 044-556-5515 までお気軽にお電話の上お申し込み下さい。

さまざまな魅力ある特典

賛助会員になられますと、次のような魅力ある特典が受けられます。

① スポーツ用品の購入にあたっては、右欄に掲げられているスポーツ店で、用品の優遇割引が受けられます。(会員証の提示が必要)

② 当協会および加盟団体主催の各種行事の案内や、入場券の優遇斡旋があります。

③ スポーツ指導者の派遣や、各種スポーツに関してのご相談に応じます。

④ スポーツに関する情報が満載の当協会広報紙「スポーツかわさき」(年3回発行)が無料で送付されます。

⑤ その他さまざまな特典があります。

賛助会員提携店のご案内

次のスポーツ店で賛助会員に対しての優待割引をして頂いております。ご利用下さい。

(有) トモエスポーツ

川崎市小川町2-2 ☎ 222-3357

(株) 三愛スポーツ

川崎市小田3-16-8 ☎ 333-6211

三陽スポーツ

川崎市池田1-14-4 ☎ 222-5803

(株) カワブチスポーツ

幸区下平間 214 ☎ 511-1615

(有) アイダスポーツ

中原区田尻町11 ☎ 533-8411

(有) フジスポーツ

中原区小杉1-403 ☎ 711-0505

石井運動具店

中原区今井西町240 ☎ 733-1024

(有) 三井スポーツ

中原区上新城2-8 ☎ 766-1753

(株) グリーンスポーツ

宮前区鷺沼3-1-17 ☎ 854-3311

(株) ミュキスポーツ

多摩区堰3-10-1 ☎ 822-8885

(いずれも川崎市運動具商組合加盟店です。)

編集後記

“かながわ・ゆめ国体”平成10年5月3日の開幕に向けてあと700日あまり。その成功とは、競技に優勝することではなく、スポーツを核とした「いきがい、ふれあい、うるおい」豊かな地域社会を作ること。みんなでいろいろな形の汗をかこう。それが「お汗こ汗運動」というもの。わが広報委員会もまた汗をかこう。(左澤)

スポーツかわさき 第42号

—発行— 平成8年6月27日

(財)川崎市体育協会

〒210川崎市幸区戸手本町1-11-3

川崎幸スポーツセンター内

電話 044-556-5511 FAX 556-5559

—編集— (財)川崎市体育協会 広報委員会

—印刷— (株)第一サンエー (電話222-2356)

〒210川崎市川崎区榎町3-9